

会派代表質問

コロナ感染症では、本市独自の対策も新しい市民の命を守るべきなのだ！

新政ネット

石渡 登志男 議員



市民の方から私宛に1通のメールが入った。こんな内容、『大網白里アリーナの接種に行ってきた。どの場所でもひとり一人に「お待ちせしました」と声をかけ、また、「こちらにどうぞ」と誘導していただきました。全ての接種者に優しく親切な対応で、誰一人迷ったり不安を抱いた方はいなかったはず。ぜひ何かの機会にアリーナ接種会場の関係者は素晴らしい対応でしたとお伝えください。』とても素晴らしい対応だ。よって、この壇上から言わせていただいた。役所の中でも「お待ちせました」あるいは、「お待たせしてすみません」、こういった一言で市民の気持ちは変わってくる。私にはそんな思いがある。実は、もう一点、お伝えしたい。白里地区にあるスーパーが9月20日に閉店。地元の方がお店存続の嘆願書を出したり、店長にもご連絡がいったようだ。白里地区唯一のスーパーがなくなると、車を使うことができない高齢者は大変お困りになることがわかっていく。買い物難民になりかねない。白里地区は本市一番の高齢化率。民間なので閉店は仕方ないが、だからこそ、白里地区のコミュニティバスである「はまバス」と地元スーパーがある「はまバス」と地元スーパーが手を結び、それにより、はまバスの乗客を増やし、スーパーの存続もできる限り延ばし続けていきたいと思いたい。以前、そんな話もさせていた。要はやり方ひとつだ。そうしなければ、この地区のコミュニティバスやスーパーの存続も危ういのではないかと思ったからだ。車を運転することができない高齢者の方にとって、日常生活における「食」という一角が崩れてしまった。これか

らは益々コミュニティバスの真価が問われることになる。

問 同僚議員からはワクチン接種についての質問があるので、私は本市の感染状況についてお訊きたい。本市のコロナ感染についてはネット上にも掲載されているが、全ての方々がそこから情報を得ることは難しい。特に高齢者の方々は「よくわからないよ」と、そんな事を言われている。そこで、市内における新型コロナウイルスの感染状況等を教えていただきたい。

答 市内の感染状況ですが、9月2日現在、感染者数は154人、入院中が13人、自宅療養が134人、ホテル療養が3人、調整中が4人です。昨年7月から本年8月末までの累計感染者数は408人です。

問 では、本市年代別発生状況についてはどうか。

答 8月末現在の年代別発生状況ですが、10歳未満の感染者数は30人、10代は43人、20代は79人、30代は60人、40代は62人、50代は67人、60代は30人、70代は20人、80代以上の方は17人です。

議会議長よりこういった情報を掲載し、多くの市民の方に、より一層のご注意をお願いしたいと思っております。それが今回の質問の狙いでもあります。また、本市独自の対策も本来講じていくべきではないのか。市民の命を守る為、自治体独自の支援策があってもよいではないか。例えば、その一つとして、「ネーザルハイフロー」というコロナ新療法がある。厚労省もこの5月より新型コロナナ診療手引きにも追加したので、導入している病院も増えている。また、世界各国にも今急速に広がっている。

助成金も出るので、医療機関が入手しやすくもなっている。大網病院はこの9月より、コロナ病床を新たに開設した。ならば、導入していただき、市民の方が、中等症から重症化に陥ることがないようにしていただきたい。

ニューチューブにも載っている。

「ネーザルハイフロー」で検索し、動画下に「コロナ新療法、ネーザルハイフロー現場の医師解説、2021年8月11日」という言葉があるので、その動画がそうだ。その効果に驚くはずだ。導入に踏み切っているその背景がよくわかるのではないかとよく考えている自治体は、その独自対策をすでに行っている。酸素ボンベ等を活用した入院待機中の自宅療養者への緊急支援等。地域の医療機関の判断により迅速に酸素投入を行うことができるよう積極的にやっている。

国や県からの指示待ちではなく、市独自の対策も検討すべきだ。これ以外に、本市における防災対策、また、その他の質問等も行った。

関連質問



堀本孝雄 議員

問 近年の大雨による冠水対策について、まず飯岡一宮線県道の排水路の整備状況並びに今後の整備計画についてお尋ねいたします。

答 通称産業道路脇の排水路については、千葉県が事業主体となり、平成27年度から老朽化の著しい箇所について、順次改修工事を実施しております。今後についても、県に計画的な事業促進を図っていただくよう要望しており、県からは、早期改修に取り組んでいくと伺っております。枝川から真亀川に至るまでの排水路の整備状況と今後の計画はどのよう

なっていますか。

答 波乗り道路脇の排水路については現在改修の予定はないが、状況等に依りて堆積土砂の撤去、清掃を実施し、排水機能の維持に努めます。通称枝川池からの排水路については、事業計画区間約960mのうち、下流側を第一期整備区間として、昨年度までに114mの水路改修を実施し、今年度も工事を予定しています。

問 白里海岸公園の廃止、国への返還についてお尋ねいたします。

答 白里海岸公園については、利用者の減少や施設の老朽化が著しいことから、当初全面積の約2割に相当する5公園を廃止し国に返還する方針案であったが、地元地区代表の方々との意見交換の場を経て19か所全34区画ある公園のうち、全面積の約3割に相当する15区画を国に返還する方針と決定したところです。

問 返還後の国有地の維持管理は、どのようにいたしますか。

答 関東財務局に確認したところ、年2回の除草作業が実施されますが、市が管理する場合と違って、作業範囲は全体を実施するのではなく、いわゆる額縁管理になるとのことです。市としては、国が実施する作業の頻度及び範囲の減少による雑草の繁茂により近隣への影響が懸念されることから、関東財務局へ土地の適正管理をお願いしてまいります。

問 北今泉の県有林の整備方針、整備予定はどのようになっていますか。

答 県有林に隣接する民家や道路の通行の支障とならないよう、草刈りを年1回行っている。今後の整備は、状況に応じて、枯れて空き地となった部分の植林も考えているところです。

この県有林を片貝自然公園、白子自然公園と同じような形態にしてはいかかと提案いたしました。このほか、白里海岸の侵食対策について質問いたしました。

個人質問

市民の声を届け誰もが楽しく暮らせる豊かなまちづくりの実践！

林 正清子 議員



1. 市の女性管理職について
本市でも、男女共同参画計画が策定され、指標では、市職員の女性割合で課長相当が10%、副課長相当が30%、班長相当が40%となっています。

市職員全体の管理職の女性割合を伺いますが、もう少し掘り下げて、市長部局（病院以外）の管理職の女性職員割合がいかほどかを伺います。

答 市職員全体の女性管理職の割合は、課長相当職は6.5%、副課長相当職は25.0%、班長相当職は38.9%となっています。大網病院を除いた一般職の女性管理職の割合は、課長相当職は3.8%、副課長相当職は17.9%、班長相当職は31.3%となっています。

問 昇任試験では、昇任資格がある職員のうち、昇任試験を希望する職員の男女別の受験率を伺います。

答 昨年の昇任試験の受験率は、副課長相当職の男性は39.6%、女性は12.5%であり、主査相当職の男性は58.2%、女性は12.0%となっています。

問 管理職の女性比率が上がらない理由は様々あると思いますが、女性自身が希望しないことが大きな原因といわれています。女性自身が昇格を希望するようになるための施策を伺います。

答 現在市では、管理職として求められる知識・スキルの習得を目的として、女性職員を対象とした女性活躍推進研修の受講や「マネジメントの原理・原則」「部下の育成」などを含んだ階層別研修を実施するなど、女性職員の人材を確保するため、積極的な女性職員の採用、育成を行っております。

引き続き、女性管理職のロールモデルとなる職員の育成に努め、女性職員が管理職を目指す意識の醸成に努めてまいります。

2. リモート活用について
市民との会話のための会合が、次々と中止になっていますが、リモート会議を活用することはできないでしょうか。

答 リモート会議への対応については、リモート会議を行うためのパソコンの設定や貸し出しなど、リモート会議に関するサポートを、総務課情報政策・業務改革推進班において、適宜対応しております。

リモート会議の設備につきまして、昨年以降、新型コロナウイルス感染症対策の影響から、国や県等が主催する会議や研修会の多くがリモート会議による開催となったことを受け、リモート会議に対応したカメラ付きパソコンやインターネット回線のある会場など、リモート会議に参加できる環境を整備したところがあります。

問 リモート会議に対して技術的なサポートをして頂けますか。また、市が主催となり、市民が参加できるリモート会議を開催して頂けますか。

答 リモート会議に関するサポートについては、総務課情報政策・業務改革推進班において、適宜対応しております。

現在、市では、容易に利用できるウェブ会議システムのライセンスを購入する予定であり、オンラインで会議を開催することが可能となります。

※他に、市内のワクチン年代別接種状況について質問しました。